

『Rによるやさしい統計学』（第1版第2刷）

頁	箇所	誤	正
P153	11行目	この検定統計量は、帰無仮説のもとで自由度 $df=n-1=10-1=9$ の t 分布に	この検定統計量は、帰無仮説のもとで自由度 $df=n-1=20-1=19$ の t 分布に
P153	図6.2	現状の図 	次の図に差し替え
P154	1~4行目	<pre>> qt(0.025, 9) #自由度 9 の t 分布で下側確率 0.025 となる t の値を求める [1] -2.262157 > qt(0.025, 9, lower.tail=FALSE) #自由度 9 の t 分布で上側確率 0.025 となる t の値を求める [1] 2.262157</pre>	<pre>> qt(0.025, 19) #自由度 19 の t 分布で下側確率 0.025 となる t の値を求める [1] -2.093024 > qt(0.025, 19, lower.tail=FALSE) #自由度 19 の t 分布で上側確率 0.025 となる t の値を求める [1] 2.093024</pre>
P154	▲	<pre>> curve(dt(x, 9), -3, 3) > abline(v=qt(0.025, 9)) > abline(v=qt(0.975, 9))</pre>	<pre>> curve(dt(x, 19), -3, 3) > abline(v=qt(0.025, 19)) > abline(v=qt(0.975, 19))</pre>
P154	10行目	これより棄却域は $t < -2.262157$ 、 $t > 2.262157$ となります (図6.2)。	これより棄却域は $t < -2.093024$ 、 $t > 2.093024$ となります (図6.2)。